

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	19	学校名	青翔中学校・青翔高等学校
----	----	-----	--------------

1. 取組名 発掘！奈良資源！！

～地域に眠る資源を見つけ、その活用方法を探る～

2. 活動内容

二上山は、奈良県と大阪府にまたがる山であり、金剛山地の北部に位置している。雄岳（517m）と雌岳（474m）の二つの山頂があり、ハイキングコースとしても親しまれている。奈良県立青翔中学校・高等学校では、2012年より二上山麓のふるさと公園周辺で、植生調査や里山の整備活動を行ってきた。近年、奈良県ではナラ枯れの被害が広がっている。奈良県の調査では、2010年に奈良市若草山でナラ枯れの被害が確認された。その後、被害地域が南下し、二上山でも2016年にナラ枯れの被害が初めて確認され、今後、被害の拡大が予想される。そこで我々は2017年から一般社団法人山遊舎と協力し、二上山におけるナラ枯れの被害状況を調査するとともに、二上山の里山整備活動を行った。

3. 成果と課題

昨年度に引き続き、二上山ふるさと公園内の一部地域におけるナラ枯れの実数調査を行った。興味深いことに、被害を受け一旦枯死したと思われた木でも、樹勢が回復したものが認められた。今年度の調査も含めて、同一地域において3年間継続して調査した結果を、3月に名古屋大学で行われる日本森林学会高校生ポスター発表会において報告する予定である。また、この調査の結果を活用し、地元NPOの活動により、登山道沿いの被害木は伐採が進んでおり、登山者への危険度は減少しているが、全てを伐採しているわけではないので、引き続き注意が必要となる。生徒はこの活動に参加し、地元の有用な資源である里山の保全に努めている。この活動により、生徒が問題意識をもって、積極的に地域が抱える課題を解決しようとする意識を育むことができた。



4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

活動に参加し生徒には、地元が抱える問題に対し積極的に関わろうとする意欲が育まれたように感じた。地元の団体からも、生徒たちの参加により、活動に活気が生まれたという意見がだされた。今回の活動で得られた結果をもとに学会発表を行う予定であり、それに向けて、生徒の興味関心がさらに高まっているように思われる。